

倫理哲学

Ethical Philosophy

業：K1-13101MY、生命：K1-13101MS

素養科目 1、2、3 (薬)年／前・後期 1単位 選択科目

科目責任者 久保田 唯史(医科学の公正・ガバナンス研究室)

■教育目的

倫理と哲学に関する思想を学ぶとともに、医科学研究や臨床において実践的に行われている倫理的視点に留意した取組(ELSI、RRI、PPI)に関する理論的な背景を理解し、具体的な取組に際しての論点を考察する。【卒業認定・学位授与の方針:YD-①、YD-④、YD-⑥、SD-④、SD-⑤】

■学習到達目標

1. 倫理・哲学的な基本理論について説明できる(知識)
2. 医科学研究や臨床における倫理・哲学の実践について説明できる(知識・態度)
3. 社会課題に対する倫理・哲学的な課題を抽出する(知識・態度)

■準備学習(予習・復習)

予習：日頃から倫理・哲学関連の話題に注目し、可能ならば新聞紙を読む。(20分以上)

復習：授業の要点をチェックするとともに、気になる箇所があれば自分で調べてみる。(30分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	導入		B-1-1-7
2	倫理の基本理論：功利主義	最大多数の最大幸福、映画「マトリックス」	B-1-1-7
3	倫理の基本理論：義務論	正の理論、行為者との関係、トロツコ問題	B-1-1-7
4	倫理の基本理論：徳倫理	フロネシスに基づく倫理	B-1-1-4, 5
5	生命倫理の基本原則と新興技術	ゲノム研究・iPS細胞研究と倫理的課題	B-1-1-3, 7
6	倫理実践：ELSI	ELSI(倫理的・法的・社会的課題)研究の発展過程	B-1-1-9
7	ELSIの失敗	ELSIはなぜ「善い」科学を実現できずにいるのか	B-1-2-4
8	科学の捉え方：存在論と認識論	科学、世界の捉え方の違いに生じる「善い」の複雑性	B-1-1-1, 2
9	非専門家の参画の意義	患者等の参画を支持する理論的背景	B-1-1-4, 5, 6
10	倫理実践：PPI	患者の医療・医学研究への参画について	B-1-2-4, 5, 6, 11
11	倫理実践：RRI	責任ある研究・イノベーションの理論と実践	B-1-1-9
12	PPI、RRIの課題	PPIやRRIが難航することの背景	B-1-3-2, 3
13	責任に関する理論	責任の帰責性	B-1-3-2, 3
14	科学者の社会的責任：再考	最新の責任研究の紹介	B-1-1-7
15	補遺		

■授業分担者

久保田 唯史(No.1～15)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

課題のフィードバック：質問等に対しては随時受付け、次回授業で回答する。

成績評価方法：第2-4回、第5-8回、第9-11回およびそれ以降の授業内容ごとに指示するレポート課題全4回の合計点で評価する(レポート100%)。

■教科書

指定なし。

■参考書

授業中に紹介します。

■その他

オンライン・オンデマンド形式の授業です。